

4shapes®講座ご案内

4shapes®(フォーシェイプス)とは

4shapes®は、早稲田大学と甲南大学とALA(アクティブ・ラーニング・アソシエーション)の共同研究により開発されました。

おひとりお一人の認知特性を確認できるアセスメントツールです。

人にはそれぞれ特有の認知表現特性があり、情報を理解する(インプット)際の特性と、理解した情報を他の人に伝える(アウトプット)際の特性にも差があることがわかってきました。

4shapes®アセスメントは、人それぞれの認知表現特性を言語と感覚、過去と未来という2軸をもとに、4つのタイプ(▲:分析、■:秩序、●:社交、★:発想)に分類し、人それぞれの得意な認知と苦手な認知を数値で表す事ができます。



1. 自分の情報入手(Input)傾向
 2. 他者に伝えようとしている内面的情伝達(Output)傾向
 3. 表出している行動(Surface)の特性
- 以上3つの傾向を知ることができます。

どんな場で活かすことができそう?

対人や会社の人間関係において。プロジェクトチームのなかで。

夫婦関係など。特に保護者の方は個々のお子さんとの対応。

言葉のコントロールをしていまいがち傾向に気づきがあるかも!

その子にあった学習効果のある教材や参考書選びに。

◆お子さんは思春期以降の子ども達もアセスメントシート作成可能!



アセスメントシートについて

4shapes®アセスメントの結果を表すアセスメントシートは、インターネット上 又はマークシートから約120問のアンケートにリラックスした状態で答えて頂くとおあなたの結果が出来上がります。(個人差がありますが、約 20 分から 40 分程度です)

◆上の二重円は、人の認知表現特性の結果です。

内側の円が情報を理解する際の認知特性(インプット特性)です。

外側の円が理解した情報を人に伝える際の表現特性(アウトプット特性)になります。

◆左下の棒グラフは、自分の認知表現特性を社会全体と比較した結果です。

簡単に言うと、その特性のもつエネルギー量のようなものです。

グラフが長くなるほど、より大きなエネルギーを持つことを表し、

その特性が顕著に表れやすいことを表しています。

◆右側の棒グラフは、人の外面特性(サーフェス特性)を表しています。

認知表現特性は、ひとの頭の中の特長なのに対し、外面特性はその人が日頃よく行う行動の特徴を表して

外面特性も4つのタイプ(♠:表現◆:主張♥:柔軟♣:判断)で表されます。

ご自分の特性等知り、他者理解他者受容できるヒントになれば幸いです。

